

インパルスノイズシミュレータ

Model **INS-4020/4040**

概 要

フローティング出力で重畳設定を大幅に改善したマニュアルタイプのノイズシミュレータです。最大4kVの出力電圧の為、供試品の誤動作、限界値の見極めに余裕をもって行えます。(INS-4040) また、出力電圧・パルス繰返周波数・重畳位相角を任意のステップでスイープできます。終端抵抗器を試験器に内蔵しましたので、試験器の接続が更に容易になりました。試験条件は最大5個までメモリできます。

- 新ノイズシミュレータ
- 最大4kVの出力電圧で余裕のある試験が可能
- スイープ機能を標準装備
- 終端抵抗器を内蔵
- 設定値メモリー機能
- 豊富なオプションでインパルス・ノイズ試験をサポート



INS-4020

3

仕 様

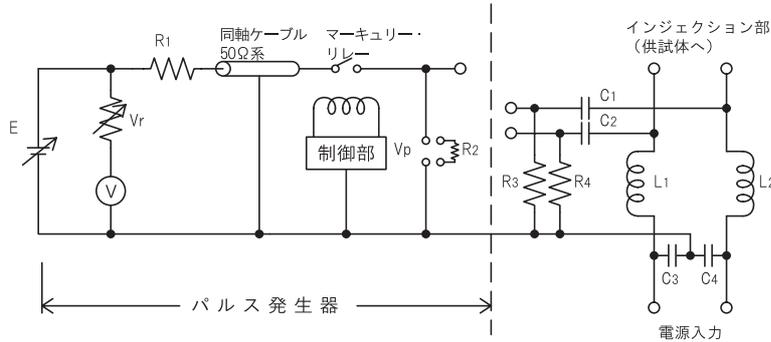
項 目	INS-4020	INS-4040	
方形波	パルス幅	50、100、200、250、400ns±10%の組合せおよび最短接続にて10ns±3ns	
	出力電圧	0.01~2.00kV±10% (0.1kV以下は±0.04kV) 10V ステップ	0.01~4.00kV±10% (0.1kV以下は±0.04kV) 10V ステップ
	極性	正または負	
	立ち上がり時間	1ns以下	
	出カインピーダンス	50Ω系(53.5Ω)	
繰返し周期	VARIABLE	10ms~999ms±10%(1msステップ) スイープ可能	16ms~999ms±10%(1msステップ) スイープ可能
	MANUAL	LAINE PHASE 設定に従いワンショット ライン入力なき場合は単発出力	
	LINE PHASE	50Hz/60Hz 注入 位相角0~360DEG ±10DEG(1DEGスラップ) スイープ可能	
EXT TRIG	<ul style="list-style-type: none"> ● EXT TRIG モード 動作周期: 10ms以上 パルス幅: 1ms以上 入力レベル: TTL/ オープンコレクタ負理論 ● START/STOP モード トリガ入力により START、STOP を行うモード 	<ul style="list-style-type: none"> ● EXT TRIG モード 動作周期: 16ms以上 パルス幅: 1ms以上 入力レベル: TTL/ オープンコレクタ負理論 ● START/STOP モード トリガ入力により START、STOP を行うモード 	
メモリ容量	5試験		
被試験装置電力要領	単相 AC240V/DC60V 16A		
電源	AC100~240V 50Hz/60Hz		
消費電力	140VA		
使用温湿度範囲	15~35°C 25~75%		
寸法	(W)430×(H)249×(D)420mm		
質量	約 19kg		
高電圧同軸コネクタ	NMHV	弊社カスタム	

■添付品

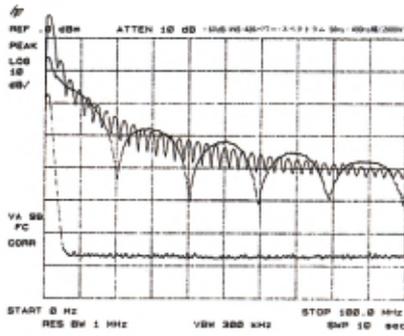
商 品 名	モデル名	数 量
パルス幅設定ケーブル 30m	02-00013A	8本
SG 設定ショートプラグ	02-00106A	1個
アウトレットパネル	18-00061B	1個
電源ケーブル		1本
取扱説明書		1冊

ノイズシミュレータのパルス発生原理と波形

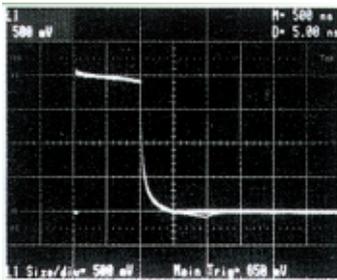
■ノイズシミュレータのパルス発生原理



■周波数スペクトラム

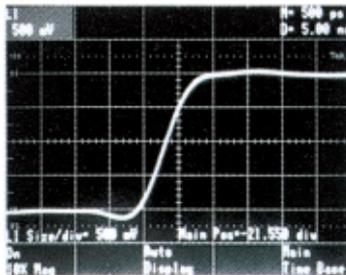


■パルス波形 方形波



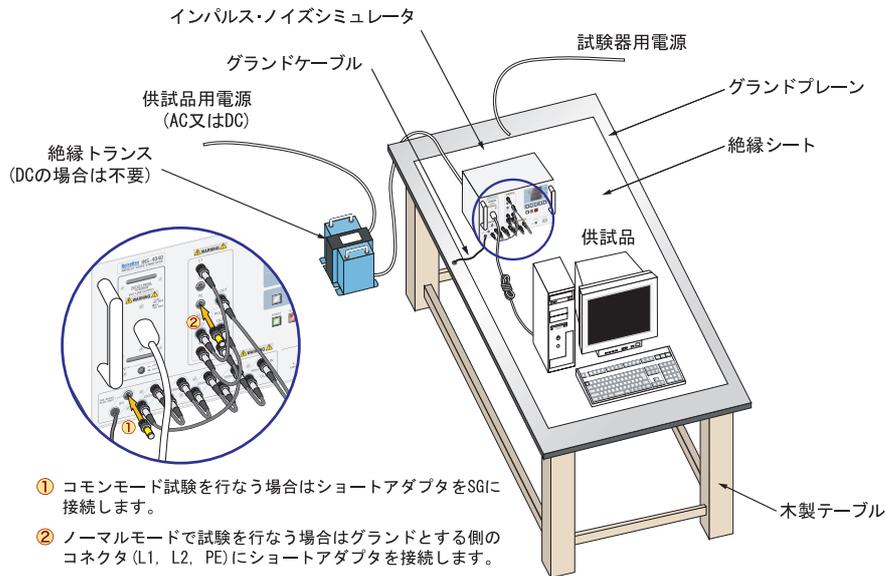
V:500V/Div H:500ns/Div 50Ω付

立上り波形



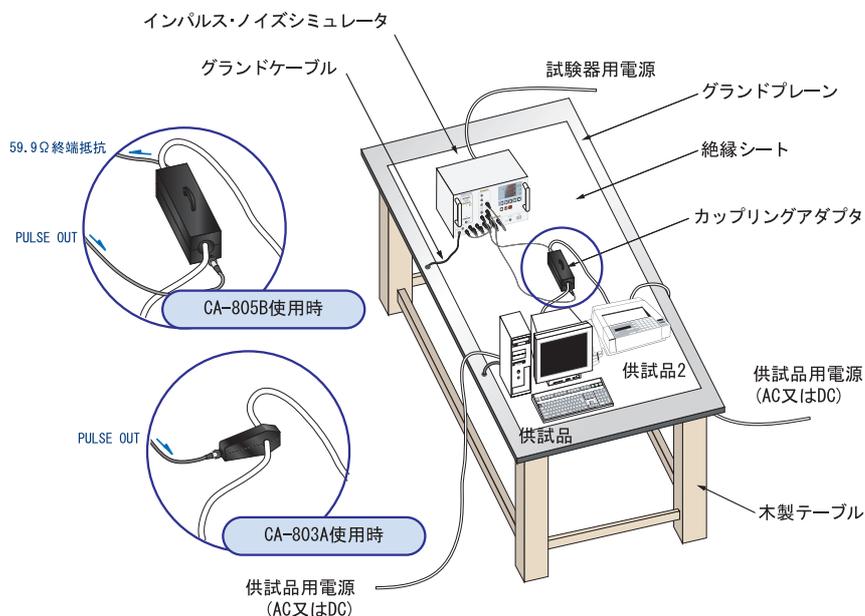
V:500V/Div H:500ns/Div

INS の試験方法について



電源供給線への試験方法

- ① 本試験器 (以降、本体とします) EUT LINE INPUT に絶縁トランスを介して供試品用の電源供給を接続します。
- ② グラウンドプレーンと絶縁シートを試験器と供試品の下に敷き、安全のため接地して下さい。
- ③ 供試品の電源ケーブルを本体に接続します。(電源ケーブルが長い場合は、短く折り返し束ねます)
- ④ コモンモード試験ではSG設定ショートプラグを接続し、本体のSG端子とグラウンドプレーンならびに供試品のFG端子 (端子がある場合) とグラウンドプレーンを高周波的に低いインピーダンスの編組線などで短く確実に接続します。
- ⑤ 本体 50Ω TERM OUT コネクタからノイズを注入する相 (L1, L2, 必要により PE) コネクタに接続同軸ケーブルで接続します。



信号線への試験方法

- ① グラウンドプレーンと絶縁シートを本試験器 (以降、本体とします) と供試品の下に敷き、安全のため接地して下さい。
- ② カップリング・アダプタ CA-805B (オプション) を開きインターフェイスケーブルを挟みます。カップリング・アダプタのコネクタと本体の PULSE OUT、カップリング・アダプタのもう一方のコネクタに本体の 50Ω TERM IN を接続します。
カップリング・アダプタ CA-803A (オプション) の場合は本体の PULSE OUT とカップリング・アダプタのコネクタを接続します。
- ③ 供試品の電源は高電圧パルスを入力しませんので任意の電源に接続して下さい。
- ④ 本体の SG 端子と各供試品の FG 端子はグラウンドプレーンに接続します。